

(※以下の情報は、米、シンガポールによるプレスリリースをもとに取りまとめたもの。)

## ■1. 会合及び交渉の全体像

- 日程：3月4日-13日（於：シンガポール）
- 交渉参加11カ国から600名以上の交渉担当者が参加。
- 次回交渉会合は、5月15日-24日にペルー・リマで開催予定。また、4月20日及び21日に開催されるAPEC貿易担当大臣会合（於：インドネシア・スラバヤ）の機会を利用して、それまでの交渉の進捗を議論し、交渉担当者に対し更なる指示を出すために、TPP交渉参加国の閣僚会合が開催される予定。
- 3月6日に開催されたステークホルダー会合には、300名以上のステークホルダーが参加し、交渉担当者との話し合いの機会が設けられたほか、60のステークホルダーが幅広い事項についてのプレゼンテーションを行った。同日には、交渉参加国の首席交渉官によるステークホルダーのための説明が行われた。

## ■2. 今次交渉会合の成果

- 今次交渉会合では、交渉参加国の首脳が見据えた2013年中という期限内に、次世代型で包括的な協定の交渉を妥結することへ向けて交渉を加速化するという目標が達成された。
- 規制制度間の整合性、電気通信、税関及び開発については良い進展があった。これらの分野の残された作業は、協定を完成する段階において取り扱うこととし、当面は、これらの分野の作業部会は開催されないこととなった。これにより、交渉参加国は、知的財産、競争、環境等といったより困難な分野の問題解決に努力を集中させることが可能となる。
- サービス、電子商取引、SPS（植物衛生検疫）、TBT（貿易の技術的障壁）、政府調達についても真剣に議論が行われ、進展があった。
- 物品、サービス、投資及び政府調達については、交渉担当者は野心的で包括的な市場アクセスのパッケージを策定する作業を継続し、進展があった。前回の交渉会合からの市場アクセス分野における前進を更に進め、交渉参加国の首脳が追求することに合意した高いレベルの野心と一致する結果へ向けた進展を続けるため、交渉参加国は、交渉会合間の作業を行うことに合意した。